# 凡　事　徹　底

**当たり前のことを当たり前に**

蕨市立第二中学校
学校だより
令和３年度
第8号（１２月号）

## 「全集中」好きなことをとことん考え続ける力のすごさ

校長　小山　晃弘

保護者の皆様におかれましては、日頃より、本校教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。感染防止対策を継続し、授業や様々な活動に一生懸命取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**□将棋の藤井聡太さん、最年少四冠達成！**

将棋の藤井聡太八段が、竜王のタイトル戦を制し、棋聖・王位・叡王と合わせて、四冠を達成しました。ちょうど一年前の学校だより12月号で、藤井さんを取り上げたのですが、その当時は棋聖・王位の二冠でしたが、この一年間で、タイトル奪取と防衛を続け、史上最年少で四冠達成を果たしました。藤井さんは豊島竜王には昨年まで6戦全敗。しかしながら、今回は4戦連勝でのタイトル奪取となりました。この強さはどこから来るのでしょうか。人並外れた集中力と粘り強さ、最善の成果を得るための工夫など、様々な要因が考えられます。

読売新聞の記事によれば『今期の竜王戦七番勝負を戦った豊島将之九段(31)は「藤井さんは2日間、ずっと盤をにらんで考えている。集中力が常人離れしていて、才能だと感じる。考え続けると疲れてしまうこともある自分は並の棋士だと思わされた」と吐露する。藤井竜王は「対局中、相手のしぐさを見たり、表情を気にしたりすることはありません」と話しており、豊島九段の観察と合致する。』という状況だったようです。また小学生の頃、藤井さんは、詰め将棋の問題を考えながら道を歩いていて、何度かドブに落ちてしまったそうです。藤井さんのお母さんは、「また服を汚して、と思いましたけど、好きなことを、とことん考え続けるのはいいこと。」と感じながら洗濯をしていたそうです。こうした家庭環境も、「常人離れ」した集中力を育てた一因なのでしょうか。

ファンの間では、藤井さんが対局中に前傾姿勢になったら「全集中」で熟考に入る合図だそうです。子供たちの成長の中で、学習や部活動、委員会や係活動、趣味や興味関心を持ったことなど、とことん取り組めるものに出会えたら、それは素晴らしいことであり大きな力になるのではないかと改めて感じました。

**□体育祭、観戦・応援ありがとうございました**

11月2日（火）第69回蕨市立第二中学校体育祭が行われました。多くの保護者の皆様にご観戦いただき、心から感謝申し上げます。種目を変更し、午前中のみの実施となりましたが、体育委員長守野さんの選手宣誓から始まり、限られた時間の中で、生徒たちは一生懸命に取り組んでくれました。競技中の生徒たちの笑顔が、一番の成果だったと思います。開催にあたり、当日受付や写真記録等でお世話になりましたPTAの皆様、早朝よりご協力いただきありがとうございました。今後とも、かわらぬご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※次号は令和4年1月11日発行です。

《学校教育目標》
自ら学び、深く考える生徒　（知）
心豊かで、思いやりのある生徒　（徳）
たくましく、健やかな生徒　（体）

蕨市立第二中学校
電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671
URL：http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/
e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp